



2017年（平成29年）9月1日（金）

こども版

だいごう 第10号！！



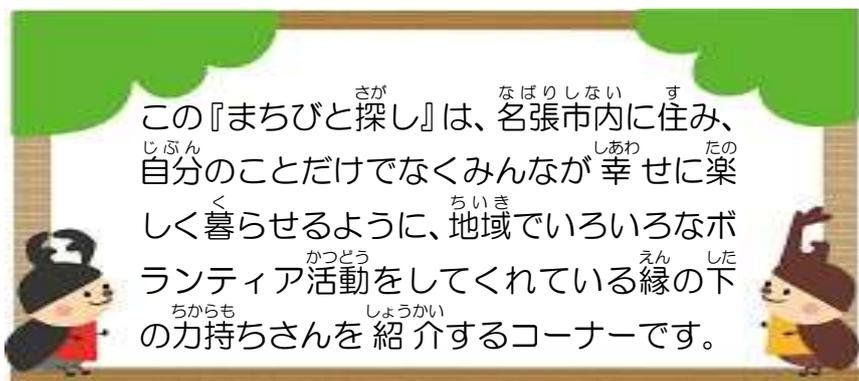
なばりんく

まちびと探し

こんげつ 今月のまちびとさん



こじん 個人ボランティア
に た まさたか さん
仁田 政孝 さん



びょういん がくしゅうしえん さいがい
おもちゃ病院、学習支援ボランティア、災害ボ
ランティアをしている仁田さんがボランティアを始め
るきっかけになったのは、はんしんだいしんさい
阪神大震災だったそうです。その頃の仁田さんは、お仕事が忙がしくて何もで
きず悔しい思いをしました。

しごと や あと ひがしにほんだいしんさい
仕事を辞めた後、東日本大震災があり、ようやく災害ボランティアとして参加しま
した。それから色々なボランティアに関わるようになりました。

「1日1日を楽しく過ごす。」「周りの人を大切にする。」「気になる事は何にでもチャ
レンジする。」と心に決めて、楽しく活動しているそうです。

ちょうない くさかり みな すこ かなか も
「町内の草刈からでもいいので、皆さんも少しずつ関わりを持ってほしい。」

ともだち つく さんか はな
「友達をたくさん作ってボランティアにも参加してほしい。」と話してくれました。



《おもちゃ病院》

「壊れたからって捨てないで！」どんなに大事に扱っていても、いつかは壊れてしまうおもちゃ。
昔は壊れてしまった物も修理して長く使っていたけれど、今は新しく買い換えが出来てしまう
時代。そんな中、昔のように物を大切にする心を育てていきたいと、無料で壊れたおもちゃを直す
活動をしています。





あか は ね きょうどうほ きん 赤い羽根共同募金

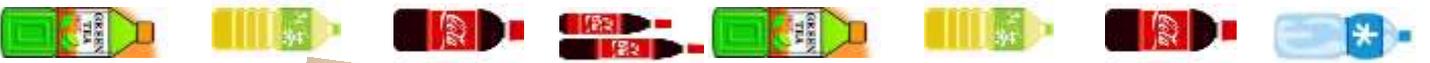


『エコキャップアート』をみんなで作ったよ！



平成29年8月7日（月）から8月25日（金）（木曜日は除く）毎日、朝10時から午後4時まで、福祉まちづくりセンター・イオン名張店3階で、エコキャップアートづくりを行いました。ペットボトルの色とりどりのキャップを、毎日少しずつ皆で貼って大きな絵ができました。

この取り組みは、子ども達にエコキャップアートの作製を通じて、赤い羽根共同募金がどんなふうに分ちあつたの地域をよくするための活動に使われているのか等、興味・関心を持ってもらうための、きっかけづくりとして開催しました。
※完成後は、「福祉まちづくりセンター」と「総合福祉センターふれあい」にて12月27日まで展示します。見に来てね♪



ご協力、ありがとうございました！

赤い羽根共同募金ってどのように活用されているの？
例えば、盲導犬を育てる費用として、約250万円かかります。車いすの購入には、10万円かかります。盲導犬を育てる費用や、車いすを買うための費用を1人で負担するのは大変ですが、2万5000人が100円寄付して下さると盲導犬の育成費になり、1000人が100円寄付して下さると車いすを一台購入することができます。このように支援を必要としている人のために使われています。

『なばりんく』は「なばり」と、つながるといふ意味の「リンク」を合わせることで、地域に住むいろいろな人をつなぐきっかけになればという思いを込めて名前を付けました。みんなの地域で取り組んでいる身近な福祉活動を応援し紹介する情報紙です。

発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会
なばりしそごうふくし
名張市総合福祉センターふれあい内
なばりしまるのうち
〒518-0718 名張市丸之内79 ☎63-1111